

28

年度	龜丸			出坂			松高		
	増減	年度五	年度四	増減	年度五	年度四	増減	年度五	年度四
173	0	3	3	0	4	4	1	7	6
19834	140	785	645	^Δ 1	789	790	77	2072	1995
464	2	16	14	1	17	16	3	42	39
20536	^Δ 31	647	678	^Δ 4	786	790	^Δ 249	2023	2292
477	0	14	14	^Δ 1	16	17	^Δ 6	40	46
18701	82	676	594	174	790	616	430	2351	1971
426	0	14	14	2	17	15	14	48	34
58571	191	2108	1919	169	2365	2196	258	6446	6188
1367	2	44	42	2	50	48	11	130	119
42.8	2.4	48.0	45.6	1.7	47.3	45.6	^Δ 2.4	49.6	52.0
173	0	3	3	0	4	4	0	6	6
1872	7	64	57	11	74	63	27	189	162
15	^Δ 1	0	1	0	0	0	^Δ 3	4	7
2060	6	67	61	11	78	67	24	199	175

学級数別状況

計 合	
増減	年度
0	173
1393	21227
14	478
△ 579	19857
△ 13	464
7212	20513
53	479
3076	61597
54	1421
0.5	43.3
0	173
132	2004
△ 11	4
121	2181

学級数	学校数	学級数	学校数	学級数	学校数	学級数	学校数	学級数	学校数
一	3	七	9	一三	1	一九	1	二五	0
二	0	八	6	一四	2	二〇	0	二六	1
三	16	九	21	一五	3	二一	2	二七	0
四	1	一〇	5	一六	3	二二	1	二八	0
五	15	一一	7	一七	1	二三	0	二九	0
六	30	一二	9	一八	2	二四	2	三〇	1

一 学級編成方針

学校教育法施行規則第五十五条によると一学級の生徒数は五十人以下を標準とするのであるが、本県の財政状態を考慮して一学級の生徒数は原則として五十六人以下として学級編成をすることとした。

二 学校教育法施行規則第五十二条によると中学校においては各学級毎に教諭二人を四置くことを基準としているが、教員負担を軽減するため、各学級毎に校長を含めて一結核休職及普通教室、未優良教員を除く）一、四八人（平均）を配置することとした。

三 生徒数並学級増について、

廿五年度第一学年入学予定生徒数は二一、二七名で本年度第三学年を卒業する生徒数は一八、二〇一名であるから差引三、〇六名の増となる。生徒の自然増に伴う学級増は五四学級である。

29

校名	要項		設置				生徒數				教職員配置見込調											
	課程	設置	一年	二年	三年	小計	大計	校長	教諭	事務	庶務	補給	小使	給任	農夫	炊夫	船員	其他	計	結核	休養	備考
飯山高校	普通	農業	四〇	三〇	九八	一七〇	四二五	一	一八	三	二	一	二	〇	〇	〇	〇	〇	三〇			
善通寺高校	普通	農業	四〇	三〇	九八	一七〇	六五二	一	二五	〇	二	一	二	〇	〇	〇	〇	〇	三三			
琴平高校	普通	農業	二五〇	二二七	七	四八四	四四八	一	一六	〇	二	一	二	〇	〇	〇	〇	〇	三三			
高松南校	普通	農業	二〇〇	一九九	〇	三九九	三四二	一	一三	〇	二	一	二	〇	〇	〇	〇	〇	二九			
高松北校	普通	農業	二〇〇	一九九	〇	三九九	三六一	一	一六	〇	二	一	二	〇	〇	〇	〇	〇	二九			
觀音寺南校	普通	農業	二〇〇	一九九	〇	三九九	七二一	一	二六	〇	二	一	二	〇	〇	〇	〇	〇	三四			
觀音寺北校	普通	農業	二〇〇	一九九	〇	三九九	一四七三	一	五〇	〇	三	一	四	〇	〇	〇	〇	〇	六〇			
多津南校	普通	農業	二〇〇	一九九	〇	三九九	七八九	一	四二	〇	三	一	四	〇	〇	〇	〇	〇	七三			
丸龜南校	普通	農業	二〇〇	一九九	〇	三九九	二九二	一	一四	〇	一	一	二	〇	〇	〇	〇	〇	二〇			
丸龜北校	普通	農業	二〇〇	一九九	〇	三九九	一六〇二	一	五七	〇	三	一	四	〇	〇	〇	〇	〇	六八			
坂出南校	普通	農業	二〇〇	一九九	〇	三九九	六六〇	一	三一	〇	一	一	三	〇	〇	〇	〇	〇	五二			
坂出北校	普通	農業	二〇〇	一九九	〇	三九九	七五九	一	二七	〇	二	一	三	〇	〇	〇	〇	〇	三五			
高松南校	普通	農業	二〇〇	一九九	〇	三九九	五五一	一	二七	〇	二	一	三	〇	〇	〇	〇	〇	四八			
高松北校	普通	農業	二〇〇	一九九	〇	三九九	六四五	一	二二	〇	二	一	三	〇	〇	〇	〇	〇	二九			
高松南校	普通	農業	二〇〇	一九九	〇	三九九	一八一三	一	六二	〇	三	一	四	〇	〇	〇	〇	〇	七三			
高松北校	普通	農業	二〇〇	一九九	〇	三九九	一八一三	一	六二	〇	三	一	四	〇	〇	〇	〇	〇	七三			

昭和二十五年九月 縣立全日制高等学校生徒教職員配置見込調

00

飯山 高 校	琴 平 高 校	善 通 寺 高 校	笠 田 高 校	觀 立 白 寺 高 校	高 瀬 高 校	丸 龜 戸 高 校	坂 出 高 校	高 松 工 芸	高 松 商 高	高 松 高 校	校 名 要 項	
											一 年 二 年	三 年 四 年
70	130	300	180	180	160	100	120	60	80	80	生	徒
60	122	296	179	171	156	101	111	55	70	82	教	員
30	103	195	89	148	100	74	100	29	39	67	計	查 定
8	58	83	52	62	47	53	49	0	0	54	校 長	教 諭
168	413	874	500	561	463	328	380	144	189	283	教 諭	實 教
10	20	27	24	23	21	8	14	6	5	7	時 務	補 務
0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	給 任	小 使
11	20	29	21	22	21	11	15	9	7	8	計	計
0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	警 務	結 休
1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	普 休	備 考
0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0		
2	3	4	4	3	2	1	1	0	0	0		
1	1	2	1	0	1	0	1	0	0	0		
15	26	39	28	27	25	13	19	11	8	9		
7	17	19	14	15	14	10	15	8	7	17		

昭和十五年及縣立定時制高等学校生徒数並に教職員配置見込調

31

昭和三十四年 現計	昭和三十五年 増減	總計	ろう 号校	盲 子校	校名要項	
					校長	教諭
0	2	2	1	1	校長	教諭
3	39	42	26	16	教諭	養護
2	0	2	1	1	養護	寮母
0	10	10	6	4	寮母	助手
0	1	1	1	0	助手	職員
0	2	2	1	1	職員	給仕
0	2	2	1	1	給仕	小使
1	3	4	2	2	小使	炊夫
0	3	3	2	1	炊夫	保護
42	2	0	0	0	保護	計
4	64	68	41	27	計	寮外
1	0	1			寮外	結休

昭和三十五年、県立盲ろう号校職員配置見込調

ろう 号校	校名要項	盲 子校	校名要項	昭和三十五年、県立盲ろう号校生徒教員見込調	
				小 学 校 の 部	中 学 校 の 部
30	二年	10	一年	10	9
30	二年	10	二年	10	5
32	三年	7	三年	7	4
11	四年	6	四年	6	4
8	五年	3	五年	3	4
14	六年	4	六年	4	18
125	計	40	計	40	2
12	級数	5	級数	5	6
8	一年	9	一年	9	7
19	二年	5	二年	5	3
8	三年	4	三年	4	5
35	計	18	計	18	6
4	級数	2	級数	2	7
10	一年	6	一年	6	3
6	二年	7	二年	7	5
8	三年	3	三年	3	6
24	計	5	計	5	6
3	級数	6	級数	6	33
		6		6	5
		33		33	92
		5		5	12
184		92	計	92	計
19		12	計	12	計

昭和三十五年、県立盲ろう号校生徒教員見込調

香川縣公立學校へき地所在職員の特種勤務手当支給(案)について

一、香川縣公立學校の特種勤務手当は政府賦員の特種勤務手当に因する政令(昭和二十三年
政令第百二十三号)による。地所在官公署に勤務員の特種勤務手当を準用し、九、米
の通り支給する。是、ある

一級地指定に該当するもの (月額の三、〇、円支給)

小學校 (三一〇名)

大川郡 五名 多和 津田第一 富田南川分校 笠松 鴨部上野分校

小豆郡 福田 豊島 原橋 女田橋 分校 全岩谷分校 全第二 苗科古江分校

三郡 苗科堀塚分校 三郡神ノ浦分校 三郡

木田郡 全高丸 神山第一 小菘 東植田管沢分校

香川郡 東山 西山 香山 榊川 男木 女不直島 下笠居青梅分校

綾歌郡 美合勝川 全中通 西分 柿前 全檀原分校 王越 曲不分校

仲多度郡 奥島 瀬居 極石 高見

三豊郡 伊吹 栗島 志々島 仁尾家の浦分校 箱浦 勝岡首山分校 五郷田野々

分校 全海老濱分校

中學校 (一五〇名)

大川郡 五名 多和

小豆郡 三郡 豊島 存田

木田郡 神山第一 日ノ小菘

香川郡 男木 女不 直島

綾歌郡 西分 柿前 王越 美々 勝川

仲多度郡 奥島 瀬居 極石 高見

三豊郡 伊吹 栗島 志々島

二級地指定に該当するもの (月額約六、〇、円)

綾波郡 美合勝川 全中通 西分 枋所 全檀原分校 王越 曲不分校
 仲多度郡 奥島 瀬居 極石 高見
 三豊郡 伊吹 栗島 志島 仁尾家の浦分校 箱津 勝同首山分校 五柳田野々
 分校 全海老濱分校

中學校 (一五〇名)

大川郡 五名 多和
 小豆郡 三柳 豊島 香田

木田郡 神山 日中 小環

香川郡 男木 女木 直島
 綾波郡 西分 枋所 王越 美合 勝川

仲多度郡 奥島 瀬居 極石 高見
 三豊郡 伊吹 栗島 志島

二級地指定に該当するもの (月収 約六〇〇円)
 小學校 (二三名)

小豆郡 池田渡阻川 木田郡 鹿沼茅二 綾波郡 美合川奥
 仲多度郡 岩島 手島茅一 手島茅二

中學校 (一一名)
 木田郡 鹿沼茅二 仲多度郡 岩島 手島茅二

三級地指定に該当するもの (月収 約九〇〇円)
 小學校 (一三名)

小豆郡 四海小豊島分校 香川郡 直島首牛首分校 仲多度郡 砂殊 佐柳
 中學校 (一二名)

小豆郡 四海小豊島分校 仲多度郡 砂殊 佐柳

合計 五一九名分、二、三〇〇、〇〇〇圓、

22

学校管理費予算要求説明書

学校管理課

要求額

一、学校管理視察費

一、六五〇、〇〇〇圓

九四、五〇〇圓

縣下公立各高、中、小学校及び幼稚園の経営管理の状況を監督視察し教育の刷新向上に資するためこれに要する経費を計上せんとする。

1. 旅費

九二、五〇〇圓

2. 通信費

二〇〇〇圓

二、学校管理研究費

三九、〇〇〇圓

校長及び教務主任を主たる対象として学校経営管理に関する研究協議会を開き、学校経営管理に関する法令の徹底を中心として経営全般を指導し学校経営の刷新と向上に資したい。

1. 旅費

一、二六〇〇圓

2. 文具費

一〇〇〇圓

3. 燃料費

二、三〇〇圓

4. 印刷費

一、五〇〇圓

5. 通信費

一〇〇〇圓

6. 会場費

二、一〇〇圓

ク負担金補助及び交付金

五〇〇〇〇圓

三 学校経営総合視察費

五六、一〇〇〇圓

郡市毎学校種別毎に一校を選んで研究会場校とし同校経営の実態を素校として区域内校長及び教務主任をして批判検討研究協議せしめ学校経営の在るべき次女態を了得させるため中小学校各十校 高等学校二校を選んで会場校として学校経営総合視察実施に要する経費である。

1. 旅費

二一、四〇〇圓

2. 文具費

一、五〇〇圓

3. 食糧費

三、〇〇〇圓

4. 印刷費

二五、〇〇〇圓

5. 通信費

一、〇〇〇圓

6. 会場費

四、二〇〇圓

四 幼稚園経営振興費

七七、四三〇圓

幼稚園は学校教育法に認められた学校であり、学校教育の最初の出発点であって自立たないが幼児後期の保育、即ち伸長期であり充実期であるこの期は生涯への影響も大きく、家庭から出て社会性への訓練も行われ、適当な環境の中、自身の助長を圖らねばならぬので、経営研究会、園長会を開催してその振興を圖りたい。

36

1. 旅費

五九、八〇〇圓

2. 雑手当

四、〇〇〇圓

3. 文具費

一、三〇〇圓

4. 人夫賃

六三〇圓

5. 食糧費

三五〇〇圓

6. 通信費

二、〇〇〇圓

7. 会場費

一、二〇〇圓

8. 負担金補助及び交付金

五、〇〇〇圓

五. 教員採用選考費

一六、二〇〇圓

教育公務員特例法の趣旨による教員の採用選考に必要な志願者の選考、身体検査並びに選考通知等に要する経費を計上せんとする。

1. 雑手当

一一、〇〇〇圓

2. 文具費

一、千〇〇圓

3. 通信費

四、〇〇〇圓

六. 給与対策費

一八二、一〇〇圓

義務教育費の國庫負担について、資料の蒐集と文部省との連絡を図るとともに、教職員給与に關し、適正な支給を図るための給与処理委員会を設け、又法規の

周知傳達を圖り、給与水準の研究調査に要する経費を要求せしむる。

1. 旅費 一一〇、〇〇〇圓

2. 文具費 三〇〇〇圓

3. 食糧費 六、〇〇〇圓

4. 印刷費 四九、〇〇〇圓

5. 通信費 二、〇〇〇圓

6. 会場費 二、〇〇〇圓

7. 備品費 一〇、〇〇〇圓

七. 表彰費 一七六、七一〇圓

学校経営優良校、就学出席優良校、教職員、児童生徒及び教育功勞者を表彰することによつて教育の振興を圖りたい。

1. 旅費 四一、六〇〇圓

2. 報償費 九〇、〇〇〇圓

3. 人夫賃 八四〇圓

4. 消耗品費 二二、〇〇〇圓

5. 食糧費 一五、六一〇圓

6. 印刷費 一、〇〇〇圓

7. 通信費 二、〇〇〇圓

35

8. 会場費
9. 筆耕費

一、九〇〇圓
一、七六〇圓

八. 定時制運営協議会費 三三、〇〇〇圓
定時制教育振興のため、講師を招き、研究会を開催するための経費を計上
せんとする。

1. 旅費

一、二〇〇〇圓

2. 雑手当

五、〇〇〇圓

3. 文具費

二、〇〇〇圓

4. 食糧費

三、〇〇〇圓

5. 印刷費

一、〇〇〇圓

6. 通信費

一、〇〇〇圓

九. 教育施設不当使用調査費 四七、五六〇圓

政令三四号及び總司令部覚書に基き、六、三三制学校施設の確保による教育施設の教育外使用禁止に沿う縣下公立各学校の教育施設使用状況調査に要する経費を計上せんとする。

1. 旅費

三、二〇〇圓

2. 文具費

一、〇〇〇圓

3. 食糧費

二、〇〇〇圓

4. 印刷費
5. 通信費
6. 会場費

六〇〇〇圓
五三六〇圓
一、二〇〇圓

一〇. 学校植林普及奨励費 一〇〇、〇〇〇圓
 國土緑化運動の一翼として、学校植林五年計画の第二年目としての本年は縣下
 小中高合せて一二〇町歩の植栽を計画し、各学校の植林事業の普及奨励を
 図り、学校教育の一環として緑化運動を強力に推進せんとする。

1. 旅費
2. 雑手当
3. 報償費
4. 文具費
5. 燃料費
6. 食糧費
7. 印刷費
8. 通信費
9. 広告費
10. 会場費
11. 修繕費
12. 備品費

四二〇〇〇圓
四〇〇〇圓
九〇〇〇圓
六〇〇〇圓
二〇〇〇圓
四〇〇〇圓
一〇〇〇圓
一〇〇〇圓
一〇〇〇圓
一〇〇〇圓
一〇〇〇圓
一〇〇〇圓

二、中学校組合立勸奨費 八五、四〇〇圓

既定方針に則り中学校組合立設置を勸奨するためこれに要する経費である。

1. 旅費 五、一六〇圓

2. 文具費 一、五〇〇圓

3. 燃料費 二、〇〇〇圓

4. 食糧費 三、五〇〇圓

5. 印刷費 二、二〇〇圓

6. 通信費 二、〇〇〇圓

7. 会場費 二、八〇〇圓

三、検定及び免許費 五六三、〇〇〇圓

教育職員免許法及び同法施行法等にすぎ免許状を持たねばならぬ縣下七、〇〇〇

教員の外、教育職員となることのできる者に対し、教育職員免許状授与のための免許

と検定を行うに要する経費である。

1. 旅費 九二、〇〇〇圓

2. 雑手当 四九、〇〇〇圓

3. 文具費 二六、五〇〇圓

4. 燃料費 七、五〇〇圓

- 5. 食糧費
- 6. 印刷費
- 7. 通信費
- 8. 広告費
- 9. 会場費
- 10. 修繕費
- 11. 備品費
- 三. 新制高校入学者選抜委員会費
- 新制高等学校の入学者選抜は各高等学校が独自に行わず縣下一斉に行
- ことになつてゐるので、このために要する経費を計上せんとする。
- 人旅費
- 又雑手当
- 3. 人夫賃
- 4. 文具費
- 5. 食糧費
- 6. 印刷費
- 7. 通信費

- 一〇〇〇〇圓
- 三一〇〇〇圓
- 二〇〇〇〇圓
- 一〇〇〇〇圓
- 四〇〇〇〇圓
- 四〇〇〇〇圓
- 三〇〇〇〇圓
- 一七九〇〇〇圓
- 二六〇〇〇圓
- 三一〇〇〇圓
- 五〇〇〇圓
- 五〇〇〇圓
- 八〇〇〇圓
- 一〇〇〇圓
- 二〇〇〇圓

中学校口座庫員退金算出の基礎

区分	単価	人数	年額	口座庫員退金	備考
本俸	六一七四	二二四七	一六六、四〇一 六四八	八三、二二〇 八二四	
勤務地手当			三、九六五 五三四	一、九八二 七六七	
家族手当	大〇〇 四〇〇	二、〇八五 三、三一〇	二六、一〇〇 〇〇〇	一三、〇五〇 〇〇〇	
旅費	四、〇〇〇	二、二一七	八、八六八 〇〇〇	四、四三四 〇〇〇	
持株勤 務手当 三級	二、五五〇 三、〇〇〇 四、五〇〇	一、三 一、七	一、一三 三五〇	五六、一七五	
日宿直手当			九、九九三 四八〇	四、九九六 七四〇	
小計			二二五、四四一 〇二二	一〇七、七三二 五〇六	
退職手当		二五〇	五、一〇八 〇〇〇	二、五五四 〇〇〇	
死亡手当		一一	四三三 〇〇〇	一一一 〇〇〇	
合計			二二〇、九七一 〇二二	一一〇、四八五 五〇六	

言らう学校費國庫負担金算出の基礎

区分	単価	人員	年額	口庫補助額	備考
区	五二〇	三一	一、九三四	九六七	
市	八〇八	三一	二、五〇〇	一、五〇〇	
勤勞地手当	六〇〇	三一	一、八三〇	七四八	
旅費	四〇〇	三一	一、二〇〇	六〇〇	
日宿直手当			三七一	一六八	
就学奨励費			四二九	五七三	
合計			三、〇七九	一、五一七	

一 補助の対象となる生徒数(小学校三年まで) () 四 数字は入室生徒数

計 盲 一〇(九) 二 年 一〇(一〇) 三年 七(六)

三〇(三〇) 三三(三三) 三九(三九)

二 補助の対象となる教員数

1/19 ÷ 10 × 1.5 = 1/8

25 ÷ 5 = 5

33 ÷ 8 = 8

計 13名

入室生徒数に算入する生徒数に除す 算定員

二七(二五)

九三(五七)

一一九(八三)

39

社會教育

20

科目	目	昭和二十五年		增比	備考
		当年度	前年度		
款使用料及手数料					
項使用料					
目 視覚教具使用料		一九八一、〇〇〇	一九八一、〇〇〇	三、四、〇〇〇	別紙記載通り
款國庫支出金					
項國庫補助金					
目 教育費補助		一四六四、二〇〇	一四六四、二〇〇	一四六四、二〇〇	
△ 社寺境内地租費		六一、六〇〇	六一、五〇〇	六一、六〇〇	
△ 重要美術品調査費		七五、四〇〇	七五、四〇〇	七五、四〇〇	
△ 官民同情報教育 那図書館費		一三三、七、二〇〇	一三三、七、二〇〇	一三三、七、二〇〇	

昭和二十五年年度豫算要、求書

社會教育課

41

計	暗幕	下ランス	紙芝居	幻灯画	幻灯器	映画フィルム	対象物件
	三九枚	八台	一五の組	二〇本	五台	二五〇巻	頁数
	二〇	五〇	五	一〇	三〇	一〇〇円	單價
	一六、二四〇〇	二四、〇〇〇	三〇、〇〇〇	一四、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五〇、〇〇〇円	予算額
	一日一枚二〇円として三九枚二〇日分	一日一台五〇円として八台六〇日分	一日一組五〇円として五〇組四〇日分	一日一本一〇円として二〇本七〇日分	一日一台三〇円として五台一〇〇日分	一日一卷六〇円として二五〇巻六〇日分	備考

視覚散具使用料調書

備品費	修繕費	委託費	筆料	借料及 換料	広告費	通達料	光熱水費	印刷製本費	食糧費	燃料費	清灰費
2,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	5,000.00	40,000.00	30,000.00	45,000.00	20,000.00	30,000.00	50,000.00	70,000.00
2,100,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	5,000.00	40,000.00	30,000.00	45,000.00	20,000.00	30,000.00	50,000.00	70,000.00
2,110,000.00	39,000.00	15,000.00	20,000.00	10,000.00	40,000.00	74,600.00	51,000.00	30,000.00	31,000.00	48,500.00	84,500.00
	39,000.00	2,000.00	10,000.00	5,000.00		44,600.00	10,000.00	10,000.00			14,500.00
										15,000.00	
7,000.00 委託費 3,000,000.00 別紙内記の通り			筆料費					別紙内記の通り			又 清灰費 47,500.00 別紙内記の通り

撤通信達費	印刷製本費	食糧費	燃料費	消耗品費	賃金	積修費	雜費	旅費	公民教育費	社會教育費	備品費
九〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	八〇,〇〇〇	一五,〇〇〇	六三,〇〇〇	三〇,〇〇〇	三五,〇〇〇	二七,〇〇〇	八四,〇〇〇	二五,〇〇〇	六七,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
五〇,〇〇〇	四〇,〇〇〇	一六,〇〇〇	一〇,〇〇〇	六三,〇〇〇	五〇,〇〇〇	三五,〇〇〇	二四,〇〇〇	八四,〇〇〇	二〇,〇〇〇	六二,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
七〇,〇〇〇	四〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	七〇,〇〇〇	七〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	二四,〇〇〇	一〇,〇〇〇	二六,〇〇〇	七六,〇〇〇	
			一五,〇〇〇	七〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇			七五,〇〇〇	一〇,〇〇〇	八九,〇〇〇	
二〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	五四,〇〇〇				五,〇〇〇					一〇,〇〇〇
	別紙内訳の通り			文具費 別紙内訳の通り	人夫賃	賞賜金	委員年費 講師年費	旅費 講習費 講習者旅費 講習費			
							一五,〇〇〇 一三,〇〇〇	一五,〇〇〇 二〇,〇〇〇 二〇,〇〇〇 四〇,〇〇〇			

64

消耗品費	賃金	報償費	雑手当	旅費	視聽、出版費	備品費	修繕費	委託費	洗筆料	損料	借料及心	広告費
四三八九〇〇	八八〇〇		七二〇〇〇	八五八〇〇〇	三九八一〇〇〇	七九〇〇〇	一五〇〇〇	一六〇〇〇〇	四〇〇〇〇	一〇四〇〇〇		五〇〇〇〇
三四九、五〇〇	八八〇〇		五〇〇〇〇	八五八〇〇〇	三八三二〇〇〇	八四〇〇〇	一五、〇〇〇	一六〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇		二五〇〇〇
二五〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	四五〇〇〇	一三〇〇〇〇	六二二〇〇〇	四一〇〇〇〇〇	七〇〇〇〇	一五、〇〇〇	四〇〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	七〇〇〇〇		四二、〇〇〇
		四五〇〇〇	五八〇〇〇		一九〇〇〇			二四〇〇〇〇				
一八、九〇〇	五八〇〇			二四六、〇〇〇		一九〇〇〇			三〇、〇〇〇	三四〇〇〇		五、〇〇〇
文具費 宿務果林費 三、八〇〇〇 二二、〇〇〇〇 内訳別派	人夫賃	賞賜費	講師手当 五八、〇〇〇	特別旅費 四三、八〇〇〇〇 委員年当 七二、〇〇〇〇	視聽、出版費 一六四、〇〇〇〇 受清者旅費 一〇、〇〇〇〇	備品費 二六、〇〇〇〇 印刷器具費 四四、〇〇〇〇		別依内訳の通り	筆耕費			
					使用料 一六、六、四〇〇							

46

消耗品費	賃金	報償費	雑午当	旅費	社会体育費	保健体育費	印刷製本費	消耗品費	雑午当	旅費	縣編纂費
三,〇〇〇			八,〇〇〇	七四,〇〇〇	五七〇,〇〇〇						
三,〇〇〇			五,〇〇〇	七四,〇〇〇	二五八,五〇〇						
二〇,〇〇〇	二八,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	二八,〇〇〇	一三〇,〇〇〇		五二,〇〇〇	二,〇〇〇	八,〇〇〇	四八,〇〇〇	一五〇,〇〇〇
一七,〇〇〇	二八,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	一三二,〇〇〇	二六,〇〇〇	七三〇,〇〇〇		五二,〇〇〇	二,〇〇〇	四八,〇〇〇	四八,〇〇〇	一五〇,〇〇〇
消耗品費 文大費 人夫賃 賞賜費	一〇,〇〇〇		委員午当 講師午当 賞賜費	委員午当 講師午当 指導旅費	委員旅費 講師旅費 指導旅費			文具費	委員午当	特別旅費	
			五〇,〇〇〇 八〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇 四〇,〇〇〇 一七〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇 四〇,〇〇〇 四〇,〇〇〇						

84

印刷製
本費

11,000

11,000

11,000

6

48

I 消耗品費		II 印刷製本費	
文具費		消耗品材費	
增加田書目録館報等用紙(連五〇〇冊もの一五連)	二六五〇〇	增加田書目録印刷費(冊一五〇冊もの八〇冊)	一〇〇〇〇〇
各種印刷物用紙	一〇〇〇〇〇	田書館報印刷費(冊一五〇冊もの一五〇冊)	六〇〇〇〇
事務用文具費(人百〇として一五人分)	一五〇〇〇	田書館報印刷費(冊一五〇冊もの一五〇冊)	六〇〇〇〇
	三七〇〇〇	有毒臭煙害(田書用)閲覧用便所用等(月一〇〇として一〇年分)	一〇〇〇〇〇
		電球七〇四のもの一〇〇箇分	七〇〇〇
		清掃器具(田書館備用)消耗品材(スリッパ等)一〇年分	一八〇〇〇
		一五〇として一〇年分	三〇〇〇〇
			六〇〇〇〇
			六〇〇〇〇
			六〇〇〇〇

別紙内譯書

香川縣立圖書館

49

区別	公民教育費	消耗品費	印刷製本費
金額		七〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇
備考		<p>文具費 七〇、〇〇〇</p> <p>原紙 一枚五円のもの五、〇〇〇枚 二五、〇〇〇円</p> <p>印刷紙 一〇、〇ボンド二、〇〇〇円のもの一、〇〇〇ボンド 二〇、〇〇〇円</p> <p>罫紙 一枚五、〇〇〇のもの三、〇〇〇枚 一五、〇〇〇円</p> <p>封筒 一枚二、〇〇〇のもの三、〇〇〇枚 六、〇〇〇円</p> <p>薄罫紙 一枚四、〇〇〇のもの一、〇〇〇枚 四、〇〇〇円</p>	<p>青少年育成資料印刷 年一回発行一回二部二〇円のもの一、〇〇〇部 一〇、〇〇〇円</p> <p>ニ、〇〇〇円にて</p> <p>青少年指導者講習会用テキスト 一、二〇、〇〇〇円</p> <p>一部五、〇〇〇円のもの一、〇〇〇部 五、〇〇〇円</p> <p>社会教育研究大会用印刷物 一部二、〇〇〇円のもの一、〇〇〇部 二、〇〇〇円</p>

内訳書

<p>視聽覺教育費</p>	<p>消耗品費</p>	<p>文具費 三八、〇〇〇円</p>	<p>備品費</p>	<p>七〇、〇〇〇</p>	<p>方用器具費 二六、〇〇〇円 謄寫版一式 六、〇〇〇円 書片棚二ヶ 一ヶ一〇、〇〇〇円にて二ヶ、〇〇〇円 函書箱六 時事解説書 四四、〇〇〇円 其々他圖書一冊平均五〇円 三六冊分 一四、〇〇〇円 三〇、〇〇〇円</p>	<p>委託費</p>	<p>四〇、〇〇〇</p>	<p>PTA研究会用資料 二〇、〇〇〇円 一部二〇月のもの一〇、〇〇〇円 婦人指導者講習会用印刷物 一〇、〇〇〇円 一部一〇月のもの五、〇〇〇円</p>	<p>委託費</p>	<p>一五、〇〇〇</p>	<p>社会学級開設委託費一学級五、〇〇〇円にて三学級分 一五、〇〇〇円 学校拡張講座開設委託費一校一〇、〇〇〇円にて二校分 二〇、〇〇〇円 P.T.A.幻灯フィルム作成委託費 五、〇〇〇円</p>
---------------	-------------	------------------------	------------	---------------	---	------------	---------------	---	------------	---------------	--

		社会教育費 印刷製本費	
備品費 二二八、〇〇〇		一〇〇、〇〇〇	
録音委託 ポスタ製作委託 一〇、〇〇〇 五、〇〇〇	庁用器具費 二二八、〇〇〇 映画フィルム(半年分) 一四三、〇〇〇 (百十卷分) 四三、〇〇〇 文化短篇映画 九〇、〇〇〇 幻灯フィルム 一八、〇〇〇 レコード 三〇、〇〇〇 紙芝居 一〇、〇〇〇 展示物掲示板(十ヶ所) 一〇、〇〇〇 電機蓄音機 三〇、〇〇〇	レクリエーション手引一部 二〇、〇〇〇 社会教育の来年四回発行一回(一部 二〇、〇〇〇) (二部 二〇、〇〇〇) 二〇、〇〇〇 八、〇〇〇	二〇、〇〇〇

51

調査 川 社会教育課

縣立圖書館においは一昨年復興したが二十五年後には更に一層
 の内容充実を図るために圖書目録の完備並に目録を各方面に配布
 のため約三十五万円を又近く出る公共図書館法に備えて縣下各図書館
 の蔵書目録の互いに約十五万円を計上した又圖書については本館備付
 用として五千冊文化に恵まれるない山邊村巡回用三千冊を購入するた
 め計二百万円を計上して文化の振興に務めんとする
 次に昨午三月社会教育法の公布によつて社会教育の重要性が再認識
 され凡そ社会教育の場所は凡そ人々に教育の機会を与ふる必要上各種
 の委員会各階層を対象として講習会を求めたに依り指導し得る能力
 をとることの出来るよう指導す特にカトリック、学校出張の形能心による
 研究協議更に現在最も重要視される婦人青年指導す及び文化國家
 としての教育上必要な各種の文化行事、ユネスコ運動等には要する経費を
 として二百五十万円を又県美術展覧会(五月)の経費として二十五万円
 を計上した
 次に社会教育の中心は人の生命なり。故に即ち映画フィルム、文化短編映画等
 の購入費更に従来の視覚のみならず聴覚教育も加へて小人を目的に事業後
 が拡張され小人の経費として四百十の円を計上した
 又社会教育の振興とてその重要性を持つ公民館運動振興費として
 五十万円を計上した
 社会教育の中心は人の生命なり。故に即ち映画フィルム、文化短編映画等
 の社会教育の振興を企圖して講習会指導すに重点を置き社会教育の

CORRECTION

THIS DOCUMENT
HAS BEEN REPHOTOGRAPHED
TO ASSURE LEGIBILITY

52

學校指導課

53

科目	昭和廿五年度歳入豫算要求書			学校指導課	
	昭和廿四年度 当初豫算額	昭和廿四年度 現計豫算額	昭和廿五年度 豫算要求額	増	減
款 國庫支出金					
項 國庫補助金					
目 教育費補助	三七九、七六〇	三七九、七六〇	八五五、〇〇〇	四七五、二四〇	
教科用図書 検定採扱費			一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	
学校給食費	二五二、二六〇	二五二、二六〇	七五二、〇〇〇	五〇〇、七四〇	
△ 養護施設養 成費	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇			五〇、〇〇〇
△ 特別身体 検査費	七、五〇〇	七、五〇〇			七、五〇〇

備考

54

昭和三十五年年度歳出豫算案、求書		昭和三十四年度		昭和三十五年年度		増減		備考	
科目	当初予算額	昭和三十四年度	昭和三十五年年度	増	減	特定	財源	学校指導課	
教育費	2,300,000	2,226,000	4,800,000	2,500,000					
学校教育指導費	2,300,000	2,226,000	2,338,000	2,800	174,000				
4. 衣費	1,333,000	1,436,200	1,249,000						
雑手当	2,300,000	2,766,000	2,500,000	1,100,000					
5. 報償費		2,000,000	3,000,000	3,000,000					
賞金	2,550,000	4,100,000	4,100,000	1,550,000					
11. 消耗品費	705,000	1,254,000	1,270,000	46,500					
12. 燃料費	160,000	162,800	160,000						
13. 食糧費	470,000	342,000	300,000		170,000				
印刷製本費	268,000	285,250	236,400		31,600				
国庫補助			1,000,000						

16 通信運搬費	二八、〇〇〇	三九、六七〇	三五、〇〇〇	七、〇〇〇	
18 広告費	五、〇〇〇	四五、〇〇〇	三、〇〇〇		
20 借料及賃料	三三、〇〇〇	三四、〇〇〇	三四、〇〇〇	二、〇〇〇	
23 修繕費			五、〇〇〇	五、〇〇〇	
25 備品費	二二、〇〇〇	三一、八四〇	二九、五〇〇	八、五〇〇	庁用器具費、 卒業用、 図書購入費、 (別紙内訳のとおり)
28 施設費		五、〇〇〇			
32 員担金補助 及交付金		六、〇〇〇	六、〇〇〇		研究指定校交付金 (別紙内訳のとおり)
目認定講習費		二四、七一六	二四、七一六		
4 衣費		一、五九四	一、五九四		教員受講旅費、 講師旅費、 (別紙内訳のとおり)
6 雑手当		七、四九〇	七、四九〇		講師手当
9 賃金		一、三〇〇	一、三〇〇		人天賃
11 消耗品費		二八、四〇〇	二八、四〇〇		文具費
12 燃料費		八、〇〇〇	八、〇〇〇		
13 食糧費		二八、二〇〇	二八、二〇〇		別紙内訳のとおり
14 印刷製本費		三六、〇〇〇	三六、〇〇〇		別紙内訳のとおり

55

昭和廿五年度歳出豫算要求書				学校指導課	
科目	昭和三十四年度 当初予算額	昭和三十四年度 現計豫算額	昭和三十五年 豫算要求額	比較	
				増	減
16 通信運搬費	三〇〇〇	四五〇〇	二〇〇〇	一七〇〇	
14 印刷製本費	七〇〇〇	五〇〇〇	三〇〇〇	二三〇〇	
13 食糧費	一〇〇〇	一〇〇〇	五〇〇		五〇〇
12 燃料費	一〇〇〇	一〇〇〇	三六〇	二六〇	
11 消耗品費	九〇〇	九〇〇	七三四	六四四	
9 雑手当	二〇〇〇	一〇〇〇	一二五〇	一〇五〇	
4 旅費	一三〇〇	一七八五	五二〇	三九〇	
目学校体育費	二〇〇	二二七〇	一〇〇〇	八〇〇	
項保健体育費					
20 借料及損料			一三〇〇	一三〇〇	
特別					別紙内訳のとおり
講師旅費					一五〇〇
特別					三二〇〇
別紙内訳のとおり					九五〇〇
講師手当					三三〇〇
別紙内訳のとおり					三三〇〇
文具費					四〇〇
消耗器材費					四〇〇
別紙内訳のとおり					四〇〇
備					考
特					定
取					源

56

科目		昭和廿四年度 当務豫算額	昭和廿四年度 現計豫算額	昭和廿五年度 豫算要求書	増	減	備考	特定 財源
23	修繕費	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	五〇〇〇	四〇〇〇			
25	備品費	五〇〇〇	五〇〇〇	八五〇〇〇	八〇〇〇〇		庁用器具費 一〇,〇〇〇 事業用 七五,〇〇〇 別冊内訳あり 研究指定校交付金 別冊内訳あり	
32	員担金補助 及交付金			二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇			國庫補助 七五,〇〇〇
	目学校給食費	九四,〇〇〇	七二,〇〇〇	一五,〇九二	五六,九二〇			
2	吏員給	九九,八四〇	九九,八四〇			九九,八四〇		
3	給料	三二,七六〇	三二,七六〇			三二,七六〇		
4	旅費	六〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇	一五,〇〇〇	九〇,〇〇〇		講師旅費 二〇,〇〇〇 受講 一三〇,〇〇〇	
5	職員手当	三八,七三三	三八,七三三			三八,七三三		
6	雑手当			二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇		講師手当	
	報償費			三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇		賞賜費	
9	貸金			一三九,六〇〇	一三九,六〇〇		人天貸	

昭和廿五年度歳出豫算要求書

学校指導課

11 消耗品費	17000	17000	5000	33000		文具費
12 燃料費	4000	4000	5000	10000		
13 食糧費			10000	10000		
14 印刷製本費	32677	22677	30000		六七七	
15 通信運搬費	11000	11000	35700	33700		
16 借料及損料	20000	20000	20000			
17 委託費			25000	25000		別紙内訳あり
18 修繕費	10000	10000				
19 備品費	11000	11000			10000	
20 東材料費	30000	20000	27900	24900		給食費 内訳別紙あり
21 補助交付金	60000	40000	55000		45000	学校給食費補助 内訳別紙あり
△ 自体育施設費	100000	137600			100000	学校体育費として計上
△ 自特別身体検査費	310000	270000			310000	学校衛生費として計上
△ 自養護放論養成費	100000	76000			100000	学校衛生費として計上
項放育費補助						

57

		昭和廿五年度歳出豫算要求書			学校指導課	
科目	目録	昭和廿四年度	昭和廿四年度	昭和廿五年度	増減	備考
		当初豫算額	現計豫算額	豫算要求額		
職員負担金補助交付金	学校衛生会補助	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇		別紙内訳あり
		五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇		別紙内訳あり
香川県学徒体育會補助		五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇		別紙内訳あり

目 学校指導費 二、三二八、四〇〇円 学校指導課

一、事業内容

教員及び各種研究会等の指導、中等学校指導主任の養成講習、教科用圖書の採扱、各種教育の振興等の諸事業を行う。

二、内訳

○ 旅費 一、一四九、〇〇〇

1. 指導旅費、指導主事その他職員十八人の県内学校指導旅費 三六〇、〇〇〇

2. 講師旅費、講習会・講演会等の講師招へい旅費 三三〇、〇〇〇

3. 受講旅費、教員の内地大学派遣研究旅費、各種講習会・研究会等の受講旅費 四五九、〇〇〇

○ 雑手当 二五〇、〇〇〇

1. 招へい講師手当 一三〇、〇〇〇 教科書採扱集計手当その他諸手当 一二〇、〇〇〇

計 二五〇、〇〇〇

○ 報償費 三〇〇、〇〇〇

1. 学校美術展覧会・音楽会・研究論文賞賜費 三〇、〇〇〇

○ 賃金 四一、〇〇〇

1. 教科書展示会・音楽会等人夫賃 四一、〇〇〇

○ 消耗品費 一七、〇〇〇

1. 講習会・協議会・研究会報告用紙・原紙・罫紙・インキ等 一七、〇〇〇

○ 燃料費 一六、〇〇〇

1. 各郡市別業協議会月水費 一六、〇〇〇

○食糧費 三〇、〇〇〇

1. 講習会講師長待料、展示会協議会利用

○印刷製本費 二二六、四〇〇

1. 教育課程指導書印刷費、一冊二〇円ニ〇種各五〇〇部代

2. 教科書修正通知書印刷、その他諸印刷

○通信運搬費 三五、〇〇〇

1. 各種講習会通信費及び展示会展示品運搬費

○廣告費 三〇、〇〇〇

1. 教科書展示会その他新聞、廣告料、一回平均一〇、〇〇〇の三四分

○借料及損料 三四、〇〇〇

1. 教科書展示会場、その他講習会会場借料

○修繕費 五、〇〇〇

1. 庁用備品(電蓄、自転車、謄写版等)修繕費

○備品費 二九五、〇〇〇

1. 庁用器具費、書籍ラ棚二個、書架ラ棚四個、謄写版、やすり等

2. 事業用器具費、教育測定器具一揃六五、〇〇〇 農業家庭科指導用自転車二台一五、〇〇〇

3. 各学枝指導用図書、教育辞典、教科書等購、費

○負担金補助金及び交付金 六〇、〇〇〇

1. 研究指定学校(高校五、中学校二〇、小学校一、特別学校五)研究補助一校平均二、〇〇〇 計六〇、〇〇〇

計 一一五、〇〇〇

一五〇、〇〇〇

三〇、〇〇〇

五、〇〇〇

三四、〇〇〇

三〇、〇〇〇

三五、〇〇〇

三六、四〇〇

二〇〇、〇〇〇

三〇、〇〇〇

59

目 認定講習費

二四七、六〇〇円

一 事業内容

教育職員免許法施行のため現職教員の認定講習を実施する。

二 内訳

○ 旅費 一五九四〇〇〇

人故員受講旅費 受講者の三二〇。一人一人平均四〇。円受講旅費補助

2. 講師旅費 一人一日平均二五。円六会場各五人宛六〇日分

小豆師会より旅費補助平均四八。円三〇日分

○ 雑費 一四九〇〇

人講師平均一人平均五。円六会場此人員一四〇八人分

○ 賃金 会場人平均一人平均五。円六会場延二四〇人分

○ 油料費 膳食用紙尿紙等約一、千五百

○ 燃料費 膳食用薪 六会場分

○ 食糧費 講師接待用茶菓子受講者昼食用茶六会場分

○ 印刷製本費 三六〇〇

単行本了証書印刷費五〇〇。全了了香台帳六〇〇。講習要項印刷二五〇。計

○ 通信運搬費

国知用通信運搬費

○ 借料及び損料

教育会館借料 板戸校借料

一〇〇〇〇〇〇
五九四〇〇
七四九〇〇
一三〇〇〇
二八四〇〇
二八二〇〇
八〇〇〇
二八二〇〇
三六〇〇
三六〇〇
一三〇〇〇

③ 学校体育費

一〇〇〇〇〇〇円

一 学外門者

役員及び学校体育研究会の指導主任児童遊戯員のスポーツ振興

二 内訳

① 役員	五三〇〇〇〇	
② 指導員旅費		二〇〇〇〇
③ 講習旅費		一五〇〇〇
④ 夜講旅費		一〇〇〇〇
⑤ 大会役員召集旅費		一五〇〇〇
⑥ 雑手当	一二五〇〇	三〇〇〇
⑦ 講師招へい手当		三五〇〇
⑧ 大会役員手当	その他	九五〇〇
⑨ 消滅品費	七三四〇	四〇四〇
⑩ 講習会研究会用消耗品費		三三〇〇
⑪ 事務用紙類用紙原紙インキ等		三六〇〇
⑫ 印刷費	都市別講習会用	五六〇〇
⑬ 交種費	講習会研究会講師接待用	五〇〇〇
⑭ 印刷製本費	新年度普及講習会用パンフレット	一五〇〇〇

60

- ストリーツバッジ・チケット・カード 一五、〇〇〇
- 通信運搬費 二〇、〇〇〇
 - △ 各種講習会・協議会・研究会通信並びに大会通信運搬費
- 借料及び扱料 四三、〇〇〇
 - △ 講習会・研究会々々場借料
 - △ 大会々々場借料
- 修繕費 三〇、〇〇〇
 - △ 事業用器具修繕
- 備品費 一五〇、〇〇〇
 - △ 庁用器具費 一〇、〇〇〇
 - △ 事業用器具費、講習会・研究会用器具費、大会用器具費 一四〇、〇〇〇

目 学校衛生費 一、〇〇〇、〇〇〇 円

一、事業内容

学校教職員、生徒の健康管理の改善並びに健康教育の充実強化を図る。

二、内訳

○ 旅費	三九五、〇〇〇	
1. 講習会講師招へい旅費	一四五、〇〇〇	
2. 講習会視察指導員派遣旅費	二五〇、〇〇〇	
○ 証手当	一三五、〇〇〇	
1. 講師手当	一〇〇、〇〇〇	
2. 雑手当	三五、〇〇〇	
○ 貸金	会場入夫賃	五、〇〇〇
○ 消耗品費	二五〇、〇〇〇	
1. 文具費	一〇、〇〇〇	
2. 薬品費	五〇、〇〇〇	
3. 消耗品	X線フィルム	一九〇、〇〇〇
○ 燃料費	湯沸用薪炭代	五、〇〇〇
○ 食糧費	講師の待用茶点代	五、〇〇〇
○ 印刷費	講習会用パンフレット、傳達講習用テキスト代	四〇、〇〇〇
○ 光熱水費	X線検査用光熱費	五、〇〇〇
○ 通信運搬費	周知用通信運搬費	三〇、〇〇〇

61

一、事業内容

本県学校給食の改善充実を図るとともにその普及奨励をなし、栄養教育、食事訓練の指導を行う。

二、内訳

○ 広告費、新聞広告二回	五、〇〇〇	
○ 借料及び損料、至中会館借料、拡声機借料	一五、〇〇〇	
○ 修繕費、庁用器具修繕費	五、〇〇〇	
○ 備品費、八五〇、〇〇〇		
△ 庁用、器具	一〇、〇〇〇	
△ 事務用器具（照成計、資料ユニット）	七五、〇〇〇	
○ 負担金、支払付金、研究指定学校交付金	二〇、〇〇〇	
目 学 校 給 食 費	一、五〇九、二〇〇 円	
○ 旅費 一、〇〇、〇〇〇		
△ 講師招へい旅費	二〇、〇〇〇	
△ 受講者旅費	一三〇、〇〇〇	
○ 雑費、講師手当	二〇、〇〇〇	
○ 報償費、給食功労者賞賜費	三、〇〇〇	
○ 修金、エニツフイ食実施による臨時雇入八ヶ月分	一二九、〇〇〇	
○ 消耗品費、文具費及び整理会用	五〇、〇〇〇	
○ 燃料費、講習会用	五、〇〇〇	

○ 食糧費 講師茶菓子	1,000
○ 印刷製本費 研究発表及びユニセフ給食展示用	30,000
○ 通信運搬費 ユニセフ物資輸送費及び事務連絡	35,700
○ 借料及び頒料 会場借料	2,000
○ 原材料費	277,900
↳ 調理講習会用材料	30,000
↳ ユニセフ給食技師用材料	247,000
○ 負担金及び交付金	555,000
↳ モデルスクール建築施設費補助	255,000
↳ 革要後援児童給食費補助	300,000
○ 委託費 学校給食研究費	250,000
◎ 負担金、補助金、交付金	1,000,000 円

一 事業内容

香川県学校衛生会、香川県実業教育振興会への補助

二 内訳

○ 香川県学校衛生会補助	50,000
○ 香川県実業教育振興会補助	50,000

62

昭和二十五年年度豫算要求書

香川縣教育委員會事務局調査課

63

目 雑入	項 雑入	款 雑 收 入	科 目	
			昭 和 三 十 四 年 度 全 上	昭 和 三 十 五 年 度 全 上
			当 初 予 算 額 円	現 計 予 算 額 円
一 一 四 〇 〇 〇	一 一 四 〇 〇 〇	一 一 四 〇 〇 〇	予 算 要 求 額 円	予 算 要 求 額 円
二 四 〇 〇 〇	二 四 〇 〇 〇	二 四 〇 〇 〇	増 円	増 円
			減 円	減 円
			備 考	備 考

雑入

一一四、〇〇〇圓

昭和二十五年年度歳入予算要求書

調査課

64

昭和二十五年年度歳出豫算要求書
 調査統計費
 八〇〇〇〇〇圓
 調査課

科目	目	昭和二十五年		増比	備考	財源
		当予算額	現計予算額			
款教育費	項調査統計費	七〇〇,〇〇〇	六六四,〇〇〇	一三六,〇〇〇		一般歳入
	目旅費	一一〇,〇〇〇	一一六,〇〇〇	六,〇〇〇		
	千旅費	一一〇,〇〇〇	一一六,〇〇〇	六,〇〇〇		特別費
	貨金	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇			
	9. 貨金	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇			人夫賃
	需用費	五七五,〇〇〇	五三三,〇〇〇	四二,〇〇〇		
	11. 消耗品費	一四三,〇〇〇	一二三,〇〇〇	二〇,〇〇〇		文具費
	12. 燃料費	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇			

21. 紙筆 紙費	20. 借料及 損料	19. 手教料	18. 廣告費	16. 運 搬費	14. 印 製本費
四 五 △ △	一 △ △ △	一 八 △ △ △	五 △ △ △	二 △ △ △ △	四 △ △ △ △
四 五 △	一 △ △ △	一 八 △ △ △	五 △ △ △	二 △ △ △ △	四 △ △ △ △
筆 耕 費					

66

昭和二十五年年度歳入豫算要求説明書

調査課

總額

一一四、〇〇〇圓

一、雜入

一一四、〇〇〇圓

(一) 教育委員会月報販売收入

九〇、〇〇〇圓

(二) 教育委員会月報掲載広告收入

二四、〇〇〇圓

67

昭和二十五年年度歳出豫算要求説明書 調査課

總額

一 調査統計費 八〇〇〇〇圓

(一) 調査課廳費 三〇〇〇〇圓

旅費

文具費

印刷費

通信費

廣告費

筆耕費

修繕費

備品費

一六五〇〇圓

三二五〇〇圓

七五〇〇圓

一一〇〇〇圓

二〇〇〇〇圓

二七五〇〇圓

五五〇〇〇圓

三〇〇〇〇圓

(二) 調査統計費 五〇〇〇〇圓

児童生徒性能力調査 二二四、五〇〇圓

児童生徒の心身発達の実態即ち 体力、知能、向性、入学時の各種検査の実施に必要の指導の基本資料とする。

調査旅費 三〇〇〇〇圓
 文具費 八五〇〇圓
 印刷費 一六〇〇〇圓
 事務打合せ費 二〇〇〇圓
 通信費 五〇〇〇圓
 筆耕費 九〇〇〇圓
 2. 故職員実態調査 一四三〇〇圓

故職員の個々について学正、資格、免許状の種類、家族数、住宅状況、通勤状況の実態を調査、故職員の実働等教育行政の基礎資料とする。

調査旅費 一五〇〇圓
 文具費 六〇〇圓
 印刷費 一〇五〇圓
 事務打合せ費 三〇〇圓
 通信費 五〇〇圓
 筆耕費 九〇〇圓

68

3. 社会教育基礎調査 五七、五〇〇圓

青少年教育の基礎調査、学術文化、散養、宗故等の団体調査、教育文化、娯楽等に関する調査等を実施し社会教育行政全般に亘る指導方針確立の資料とする。

- 調査旅費 一五、〇〇〇圓
- 文具費 六、〇〇〇圓
- 事務組合会費 三、〇〇〇圓
- 協議会費 一、〇〇〇圓
- 印刷費 三、五〇〇圓
- 通信費 五、〇〇〇圓
- 筆耕費 九、〇〇〇圓
- 調査委託費 六、〇〇〇圓

4. 教育調査統計講習會費 八五、〇〇〇圓

管下各学校調査統計主任者に対し文部省より講師を招聘して講習会を開催して教育調査統計施行の實を挙げるのである。

速	通	印	会	协	文	講
記	信	刷	場	議	具	師
費	費	費	費	費	費	費

五	三	二	二	五	一	三
▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓

6P

二、弘報費

五〇〇、〇〇〇圓

(一) 教育委員會事業の普及 三〇、〇〇〇圓

教育委員會の事業を県民一般に周知徹底するため公開の協議会を開催する。

旅費

四〇〇〇圓

文具費

一〇〇〇〇圓

会場費

一〇、〇〇〇圓

印刷費

一〇、〇〇〇圓

広告費

五、〇〇〇圓

(二) 教育委員會月報発行 四〇四、五〇〇圓

委員会々議録、規則、重要通達の内容、研究論文

等を掲載し教育関係者はもとより県民の教育様

関紙として毎月発行する。

文具費

二五〇〇圓

印刷費

三六、〇〇〇圓

6P

広告費

五、〇〇〇圓

(二) 教育委員会月報発行 四、四、五〇〇圓

委員会々議録・規則・重要通達の内容、研究論文
等に掲載し教育関係者はもとより庶民の教育機
関紙として毎月発行する。

文具費

二、五〇〇圓

印刷費

三六、〇〇〇圓

通信費

二四、〇〇〇圓

原稿送料

一八、〇〇〇圓

(三) 教育年報作成

六五、五〇〇圓

教育委員会一年間のあゆみを記録する教育年報を
作成する。

文具費

一、〇〇〇圓

印刷費

六〇、〇〇〇圓

筆耕費

四、五〇〇圓

70

昭和二十五年年度豫算要求書

教育委員會

昭和二十五年年度歲出豫算要求總括表

科 目	昭和二十四年度		昭和二十五年年度	
	當初予算額	現計予算額	予算要求額	寄附金
五教 育 費				
市縣立學校官費	7,000,000	7,000,000	7,000,000	1,053,600
市縣立學校修繕費	3,500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000
高等學校施設費	3,500,000	3,500,000	3,500,000	3,017,600
				一般支入

71

科 目	昭和三十五年 當初算額	昭和三十五年 今上 現計算額	昭和三十五年 至算要求額	比		備 考 特 定
				增	減	
縣立學校修繕費	三五〇〇〇	三五〇〇〇	三五〇〇〇			
縣立學校營繕費						
△2更負給	五一六〇〇	五一六〇〇			五一六〇〇	
△3給料	四三二〇〇	四三二〇〇			四三二〇〇	
4.旅費	二四〇〇〇	二四〇〇〇	五〇〇〇〇	二六〇〇〇		
△5職員手當	三六六八	三六六八			三六六八	
9.債金						

昭和二十五年年度歲算豫算要求書

科	目	昭和五年度		増	減	備考	特定
		当初算額	現計算額				
11	消耗品費	六五三二	六五三二	五四六八		文具費	
12	燃料費			一一九九九			
13	食糧費			一〇〇〇〇			
14	印刷製本費	八〇〇〇	八〇〇〇		一〇〇〇		
15	光熱水費			四〇〇〇			
16	通信運搬費			五〇〇〇			
19	手教料	四〇〇〇	四〇〇〇		四〇〇〇		
23	修繕費			五〇〇〇〇			
24	工事請負費	三三三,〇〇〇	三三三,〇〇〇	三三三,〇〇〇			

14

昭和二十五年
度

予算要求書

香川県教育研究所

101

第一表

予算要求
總括表

香川県教育研究所

科	目	款	項	目
		教育費	教育費	研究費
			諸費	研究費
				研究費
	昭和二十四年度当初			五五〇〇〇
	昭和二十四年度現計			四六六五〇
	昭和二十五年度予算			七三七八二五
	昭和二十五年度要求額			
	起債			
	一般歳入			一般歳入

15

162 第二表

歳出予算要求書

香川県教育研究所

科目	昭和二十四年度			昭和二十五年			増減	備考	財源
	予算額	初年度現計	昭和二十五年	予算額	要成額	増減			
款 教育費									
項 教育諸費									
目 教育研究費	55,000	46,650	73,855	77,355				一般歳入	
節 吏員給	6,840	6,840	5,860	2,800					
給料	24,960	24,960	34,380	9,680					
旅費	22,000	19,800	19,800						
職員手当	2,368	2,368	7,437	5,489					
雑手当			3,000	3,000					
消耗品費	5,800	4,352	6,660	2,358					
普通旅費	16,000		18,000						
特別旅費	18,000								
勤勞地手当	2,512								
超過勤勞手当	1,490								
家族手当	3,800								
講師手当(研修講座担当)一人に付	3,000								
一人に付	2,400								
文具費	4,000								
消耗品費	6,660								

163

25. 備品費	20. 借料及 公損料	11. 通 運搬費	14. 印 製本費	13. 食 糧費	12. 燃 料費
九〇,〇〇〇		一五,〇〇〇	四一,七二〇	五,〇〇〇	一〇,〇〇〇
七六,〇〇〇		五,〇〇〇	二六,七三〇	三,〇〇〇	五,〇〇〇
八〇,〇〇〇	一三,〇〇〇	九八,〇〇〇	四〇,〇〇〇	五,〇〇〇	一五,〇〇〇
四〇,〇〇〇	一三,〇〇〇	四八,〇〇〇	一三,三八〇	三,〇〇〇	
<p>教育研究所の借家料</p> <p>庁用器具費 一六,〇〇〇円 事業用器具費 六八,〇〇〇円 知能研用器具費 五〇,〇〇〇円 図書費</p>					

116

164

昭和二十五年年度予算要求説明書

香川県教育研究所

昭和二十五年年度	人民主教育の目的内容及び方法について原理と実践の両面から調査研究して本県教育の向上をはかる
教育研究所	2. 縣下学校教育現場の要請する緊急なる諸問題を調査研究し学校指導課と密接なる連絡をはかり教育実績向上に資する
の運営方針	3. 教育公務員法研修規程にもとづいて研修生の委託をうけて研修にあたる 4. 教育委員会法第七條にもとづいて専任職員をおき有効適切な調査研究をする
職員組織	所長二級給吏員一人 所員七人(現職教員の身分のまま) 給仕一人計一〇名 所長及び所員七人は教科について研究。主事は庶務会計
科目	説明
教育研究所費	本県教育界の切なる要望もあり、教育研究所の機構を強化して機能を充分發揮し本県教育の向上をはかるために予算増額の必要がある
節	所長二級給一人 月八〇八二円 年九六九八四円
2 吏員給	主事三級給一人 月六八二三元 年八一八七六円 所員七人は現職教員の身分のまま俸給は教員給より支給
3 給料	給仕一人 月二八四四円 年三四、一八八円
4 旅費	普通旅費 一六、〇〇〇円 吏員二人分 特別旅費 一八、二〇〇円 所員八名(県外出張のみ含む) 研修生八名分 月額旅費(特別旅費)は所員(教科担任のもの及び所長)と研修
七三七、八二五	
一七八、八六〇	
三四、一八八	
一九八、〇〇〇	

No 5

<p>5. 職員手当 七八四三七</p>	<p>6. 雑手当 三〇〇〇〇</p>	<p>11. 消耗品費 六六六〇〇</p>	<p>12. 燃料費 五〇〇〇</p>	<p>13. 食料費 五〇〇〇</p>	<p>14. 印刷製本費 四〇〇〇〇</p>	<p>16. 通信運搬費 九、八〇〇</p>	<p>20. 借費損料 一、二〇〇〇</p>	<p>25. 備品費 八〇〇〇〇</p>
<p>この教育の実態調査をするために果下各地に出張するための旅費 調査研究のための所員及び研修生が果内に出張することが多 かり旅費として支給しその都度の正当旅費は支給しない 勤務地手当 年二五、二八〇円 超過勤務地手当 年一四、九〇九円 家族手当 所長と主事二人年三、四〇〇円(所長八、〇〇〇円主事二、〇〇〇円) 講師手当 一人につき、三〇〇円延一〇〇人分 年三〇、〇〇〇円 香川大学教授その他知名の士を講師として研修生に年一〇〇回の講座 を附講し教員の視野を広くし研修の目的達成をはかる 一人二、四〇〇円として九人分 年二一、六〇〇円 各教科の基本調査用紙 二五、〇〇〇円 生徒児童テスト用紙 二〇、〇〇〇円 会議用 一、二四〇円 年九、二〇〇円 暖房用 年四、〇八〇円 計 五、〇〇〇円 研究協議会 年一回 一、三〇〇円 年三、〇〇〇円 発表会 年一回 四〇〇円 年二、〇〇〇円 計 五、〇〇〇円 研究物刊行 年五回 一、八〇〇円 年四、〇〇〇円 研究物発送費 二、八〇〇円 調査通信費 二、〇〇〇円 電話料 五、〇〇〇円 教育研究所の借家料 月一、〇〇〇円 年一、二〇〇〇円 片用器具費 年一、二〇〇〇円 事務用具費 六、八〇〇円 生徒児童用テスト用具 二、八〇〇円 図書、研究所の運営に必要図書費 五、〇〇〇円</p>								

77

166

現員現給表

合計	一級七号 六、七、六、五	六、六、三、三	七級一〇号	八級特号 七、八、五、七	現在の 本俸 (イ)	一号七位 の本俸 (ロ)	家族手当 (ハ)	勤務地手当 (ニ)	計 (ロ十八十三)	職名氏名	備考
一七、七、五、九	二、八、四、四	六、八、二、三		八、〇、九、二							
三、二、〇、〇		一、二、〇、〇		二、〇、〇、〇							
二、〇、九、五	二、八、四	八、〇、二		一、〇、〇、九							
二、三、〇、五、四	三、一、二、八	八、八、二、五		二、一、〇、一							
	給仕 児玉俊子	主事 田中清		所長 高塚寛							高松第一高 校教諭 (教員給)

香川県教育研究所

78.

高
等
学
校
农
业
科
实
习
费

79

歲入合計	第一項 前年度繰越金	第一項 前年度繰越金	第二項 繰越金	第一項 雜目	第二項 雜目	第一項 生產品賣拂代金	第二項 生產品賣拂代金	第一項 物品賣拂代金	第一項 雜目	第一項 雜目	科目	
											收入	收入
一〇三、四〇〇〇	三一三、〇〇〇	三一三、〇〇〇	三一三、〇〇〇	-	-	七一〇、九九八	-	七一〇、九九九	七一〇、〇〇〇	七一〇、〇〇〇	昭和二十四年度 当初予算額	昭和二十四年度 現計予算額
一〇三、四〇〇〇	三一三、〇〇〇	三一三、〇〇〇	三一三、〇〇〇	-	-	七一〇、九九八	-	七一〇、九九九	七一〇、〇〇〇	七一〇、〇〇〇	昭和二十五年度 予算要求額	比較増減
一〇三、四〇〇〇	三一三、〇〇〇	三一三、〇〇〇	三一三、〇〇〇	-	-	七一〇、九九八	-	七一〇、九九九	七一〇、〇〇〇	七一〇、〇〇〇	備	考
一〇三、四〇〇〇	三一三、〇〇〇	三一三、〇〇〇	三一三、〇〇〇	-	-	七一〇、九九八	-	七一〇、九九九	七一〇、〇〇〇	七一〇、〇〇〇		

昭和二十五年度高等学校農業科実習費歳入歳出予算要求書

科目	昭和二十四年度			比較増減	備考
	自初予算額	現計予算額	昭和三十五年度予算要求額		
第一項 第一目 第一項 第一目	一〇二四、〇〇〇	一〇二四、〇〇〇	一〇二四、〇〇〇	一七〇、〇〇〇	
第一項 第一目	一〇二四、〇〇〇	一〇二四、〇〇〇	一〇二四、〇〇〇	一七〇、〇〇〇	
4 旅費	五四、〇〇〇	五四、〇〇〇	四四、〇〇〇	一〇、〇〇〇	特別旅費
7 賃金			六〇〇〇	六、〇〇〇	人夫賃
11 消耗品費	三二、〇〇〇	三二、〇〇〇	三五三、〇〇〇	四一、〇〇〇	文具費二四、〇〇〇 肥料費一〇、〇〇〇 飼料費一三三、〇〇〇 藥品費三六、〇〇〇
12 燃料費	七二、〇〇〇	七二、〇〇〇	三八、〇〇〇	△三四、〇〇〇	消耗品費 四二、〇〇〇
13 食糧費			三〇、〇〇〇	三、〇〇〇	
15 光熱水費	四二、〇〇〇	四二、〇〇〇	四四、〇〇〇	二、〇〇〇	
16 通信運搬費	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇	一〇、〇〇〇	△三、〇〇〇	
20 借料及損料	三六、〇〇〇	三六、〇〇〇	二七、〇〇〇	△九、〇〇〇	
23 修繕費	四八、〇〇〇	四八、〇〇〇	七二、〇〇〇	二四、〇〇〇	

歳出

80

	歲出合計		2P 施設費	25 備品費
	一〇三四、〇〇〇		三九九、〇〇〇	四八、〇〇〇
	一〇三四、〇〇〇		三九九、〇〇〇	四八、〇〇〇
	一、一九四、〇〇〇		四五〇、〇〇〇	一、二〇、〇〇〇
	一七〇、〇〇〇		五一、〇〇〇	七、〇〇〇
			事業用器具費 機械費 二〇、〇〇〇 印刷費 二〇、〇〇〇 権利費 七、〇〇〇 雑費 六、〇〇〇	

寫

香川県教育委員会告示第

号

次の事項を附議するを以て昭和二十五年四月二十二日香川県教育委員会臨時会及び高松市天中会より香川県教育委員会事務局に招集する

昭和二十五年

昭和二十五年四月拾壹日

一

香川県教育委員会委員長

唐津志都磨

委員の宗教、政治活動はついで

云々の他

Wade

昭和二十五年四月廿一日 齊山縣教育委員會定例會會次錄
昭和二十五年四月十一日 午前十時十分開會

出席委員の氏名

委員長	浦津志都磨	副委員長	大西義衛
委員	森 延夫	委員	湯浅玄巳
委員	宮崎友登壽	委員	植田淳一

三委員の外淺場に出席した者の氏名

教育長	久保田英一	總務課長	片山伊勢吉
学校管理課長	坂口義七	社会教育課長	小林健一

三六本會會次錄承認

四會次に附した議題

- (一) 公民館設置に関する規則案
- 社会教育課長から浅業についての概要を説明 原案不決了
- (二) 教員の宗教政治活動について

Bed

教育長から提案の要旨を説明。次會するに成案を得ず附議す
ることに決む。このように決定する。

五、次會の日程 四月二十四日

六、議決事項

(一)公民館設置に関する規則

七、會決議署名委員の氏名

湯浅克己

二十一年十一月十日

昭和二十一年四月十一日

委員 湯浅克己

書記 吉田 嶺



香川県教育委員会告示第

号

昭和廿五年四月廿四日

次の事項を附議するを以て昭和二十五年五月四日香川県

教育委員会定例會を以て松本市天町一丁目香川県教育委員

會事務局に招集する

午前十時

昭和二十五年 月 日

香川県教育委員会委員長 唐津志都磨

教育行政に付いて

Handwritten signature or mark.

Mr. M ~~OK~~
Mr. W OK
File



香川県教育委員会告示第

号

次の事項を附議するを以て昭和二十五年五月十日香川県
教育委員会臨時會及び香川県教育委員会
會事務局に招集する

昭和二十五年 月 日

十所重之吉

香川県教育委員会委員長 唐津志都磨

一、教員の宗教、政治活動に
二、その他

REC'D C.E.

DATE 6 May, 1950

昭和二十五年四月青川縣教育委員會臨時會會議錄
昭和二十五年四月二十四日午後一時開會

一出席委員の氏名

副委員長 大西義衛 委員 黒井彦雄

委員 森延天 委員 湯浅克己

委員 植田淳一

二委員の外議場に出席した者の氏名

教育長 又保田英一 總務課長 片山伊勢吉

学校管理課長 坂口義士 社會教育課長 小林健一

三本會會議錄承認

四陳情

高校之町制分校建築について

土庄中学校池田分校 三本松中学校 引田分校 木田高校 白山分校の周縁者が
の陳情があり、これら趣旨に副うさう答える。

五會議の附、に議題